

腎友さがみはら

腎友会ニュース 第143号

相模原市

発行日：平成28年10月9日

責任者：羽田 弥

相模原市南区南台 2-8-1-301 TEL042(748)3773



深沢農園の「桃」

相模原第二クリニック 鈴木宇さん

目次

・第61回ふれあい会日帰り旅行の報告	2	・今年も日本透析医会災害時情報	
・ 投稿 「桃狩り日帰り旅行に参加して」	3	ネットワークへの書き込み訓練が行なわれました	10
・ちょっといい話	3	・第35回ふれあい作品展 作品募集	10
・第33回医療・栄養講演会並びに懇談会の結果報告	4	・ 連載 透析黎明期の戦いと今日	11
・第33回医療・栄養講演会及び		・活動日誌	13
懇談会来場者アンケート集計	5	・青い鳥ハガキ寄付者名簿	14
・公明党相模原総支部政策懇談会に参加する	7	・新入会員者名簿	14
・スナップ写真	8	・編集後記	14

第 61 回ふれあい会日帰り旅行の報告

今回旅行担当 相模原クリニック 稲田 稔

写真担当 平野 雄市 稲田 稔

- 1、実施日 平成 28 年 7 月 17 日(日) 曇りのち晴れ
- 2、行き先 山梨市桃狩りと石和温泉昼食と日帰り温泉 帰路笹一酒造立ち寄り
- 3、参加人数 会員 45 名と家族、賛助会員など 29 名 計 74 名
- 4、交通手段 相模原市提供の福祉バス 2 台
- 5、行程 相模原市～圏央道～中央道～山梨市深沢農園で桃狩り食べ放題～石和常盤ホテルで昼食と日帰り温泉～帰路笹一酒造立ち寄り～相模原市
- 6、コメント

3 年前の 7 月に行なった桃狩りがとても美味しかったと役員会で話があり前回と同じ山梨の深沢農園へ行くことに決まりました。朝は曇り空で心配しましたが山梨へ着いたら暑い位の日差しとなり桃園を見物したり隣のさくらんぼ畑でテーブルに出して頂いた桃を透析者はカリウムを気にしながら、家族の方はお腹一杯食したようです。

その後石和常盤ホテルで昼食と日帰り温泉に浸かりのんびりして、帰路に道の駅で買い物をする予定でしたが帰りは混んでいるとのドライバーの言葉に予定を変更して 20 号線沿いの笹一酒造酒遊館に立ち寄りお土産を買ったり試飲をしたり楽しんで頂きました。後日深沢農園で貰ったお土産の桃が甘くて美味しかったとの声が聴け幹事として嬉しかったです。帰りの渋滞も想定内で予定時間に相模原へ到着出来ました。

参加申し込みを頂きながら当日までに体調不良などで参加できなかった方が出たことが残念でした。

参加して下さった会員や家族の皆さん一日お疲れ様でした。幹事として行き届かなかった点お許し下さい。次回の旅行会も多くの方の参加をお待ち申し上げます。稲田記



「桃狩り日帰り旅行に参加して」

相模原第二クリニック 鈴木 宇

朝の内は曇りがちで少し雨も心配されたが、途中から少しずつ雲も切れ、山梨県に入ったらいいお天気になった。

見覚えのある笛吹川の側を歩いて桃農園に到着。初めての桃狩り、大きな桃の成っている木を見て感動でした。カリウムが気になるので沢山は食べられなかったが皆で木の下で頂いた桃はとっても甘く美味しかった。

その後、石和常盤ホテルでの昼食もボリュームがあり食べきれないほど、美味しく頂きました。帰りは農園さんから桃のお土産まで頂き、一日雨の心配もなく嬉しい旅でした。

この所、腰も痛く歩くのに自信がなく心配でしたが今回は思い切って参加して良かったと思っています。幹事さんはじめ、役員の方々には大変ご苦勞をお掛けしました。有り難う御座いました。



「ちょっといい話」 ある新聞コラム欄より抜粋

少年は、父を戦争で失い、内職で手袋を編む母に育てられた。別々に編んだ手の甲と手首の部分をつなぐ作業に、いつも母は苦勞していた。そこで機械好きの少年は簡単に縫い合わせる事のできるミシンを発明した。

▼“少年”は後にニット製品を立体的に丸ごと編める機械を開発し、ファッション界に衝撃を与えた島正博社長（島精機製作所）である。利潤の為だけでなく、“大切な母のため”という純粋な思いと努力が原動力となって、多くの人々を助ける機械は世に送り出された。

第33回医療・栄養講演会並びに懇談会の結果報告

医療講演会・・・阪クリニック 阪聡院長
栄養講演会・・・相模原クリニック 小島亜紀管理栄養士
懇談会・・・・会員患者及び家族 施設のスタッフ（全6グループ）
司会進行・・・さがみ循環器クリニック 宅田氏

去る7月3日（日）午前10時から午後3時30分まで恒例の医療・栄養講演会並びに懇談会が市民会館会議室において開催しました。当日は、透析患者及びその家族・その知人の方が54名、看護師さん・栄養士さん、技士の方など透析施設のスタッフが23名、講師それに腎友会役員など20名、総勢97名の参加がありました。多くの皆様のご参加に厚く御礼を申し上げます。

医療講演は、阪クリニックの阪聡院長に「透析療法で長く生きるためには」と題してお話いただきました。透析をして長生きするためには、心血管系合併症の予防が極めて重要であること、また、人工透析をしっかりと行っていけば良いというものではなく、透析療法には限界があり、やはり食事療法も並行してしっかりと行う必要があるとのことでした。

栄養講演は、相模原クリニックの小島亜紀管理栄養士に「減塩を成功させるコツ」のテーマでお話いただきました。減塩を成功させるコツとして①意識を持つこと、②適量をまもること、③料理の際に一工夫することの切口中で大変分かりやすいお話しでした。

午後の懇談会では、施設のスタッフも加わっていただき6つのグループに分かれて懇談を行い、日頃の透析生活で悩んでいること、困っていること、疑問に思っていることなどを出し合い、皆で話し合い、解決策を見出し、時には施設スタッフからのアドバイスもありました。また、各グループの懇談の内容は最後に各グループのリーダーが発表して、参加者全員が情報を共有しました。

羽田記

第33回医療・栄養講演会及び懇談会来場者アンケート集計

1 調査実施概要

- 1) 実施期日：平成 27 年 7 月 3 日（日）講演会・懇談会の開催当日
- 2) 実施方法：アンケート用紙を配布の上、記入後回収
- 3) 配付枚数：97 枚
- 4) 回収個数：46 枚
- 5) 回収率：47 %

2 医療講演会の感想、意見

- ①専門的な事は難しかったがリンの話はそれなりに・・・(男透析 3 年、70 歳代)
- ②有意義なグラフの紹介でしたがその説明が長くて残念でした。さらに具体的なお話を聞きたかった（女透析 4 ヶ月）
- ③質問にもありましたが私も透析中血圧が下がります、原因がつかめません（男透析 17 年 60 歳代）
- ④前回と今回の比較がグラフ等で分かって良かった（女透析 6 年 70 歳代）
- ⑤リンが含まれる具体的な食品（女透析 1 年 50 歳代）
- ⑥具体的な例がほしかった（男透析 2 年 60 歳代）
- ⑦初めてのお話も聞いてよかった（女透析 4 年 60 歳代）
- ⑧もう少しマイクの音を大きくできないかな？（女透析 18 年 60 歳代）
- ⑨長生き不要（男透析 16 年 70 歳代）
- ⑩分かり易い内容と説明でした（看護師 50 歳代）
- ⑪少し難しい内容もあったが勉強になりました。質問時間を長くした方がいいように感じました（看護師 40 歳代）
- ⑫運動療法の大切さを学べて良かったです（看護師 60 歳代）
- ⑬少し患者様対象としましては内容が難しかったと思います（看護師 40 歳代）
- ⑭更に長く生きる為に！第 3 回目の阪先生の講演を楽しみにしています（医師）

3 栄養講演の感想、意見

- ①ふだん食べている物の塩分が多いのは改めて驚いた。塩分の出し方の計算の仕方が為になった（女透析 5 年）
- ②普段研究した・・・基本知識もあり分かり易かった、ヤサシオで失敗したりしてる、ウレシオはいいらしいと思った（男透析 3 年 70 歳代）
- ③リンについてもう少し深く話をしてもらおうとよい（女透析 1 年 50 歳代）
- ④再度確認させられる事あり、良かった、次も出たいと思う（女透析 4 年 60 歳代）
- ⑤声が聞こえずらい、マイクの声が小さい（女透析 18 年 60 歳代）
- ⑥香辛料で味付けを考える（女透析 10 年 70 歳代）
- ⑦自分の生活を見直す機会になりました、まず醤油について使い方を実行したいです（女透析 6 年 70 歳代）
- ⑧具体的なメニューの紹介があるとよかった（女透析 4 ヶ月 50 歳代）
- ⑨具体的でわかりやすかった（看護師）
- ⑩意識、工夫まさにその通り月々の飾に気を付けていきたい（看護師）
- ⑪とても貴重な場だと感じました（看護師）
- ⑫分かり易かった、減塩にチャレンジしたいと思います（看護師）
- ⑬減塩とてもわかりやすく為になりました（看護師）
- ⑭減塩調味料に K が多く含まれた物があることは勉強になりました（看護師）
- ⑮良いテーマです、透析の体重管理の基本です。つい皆さん惰性で忘れてしまうので繰り返し聞くのはとても良いと思う（医師）

4 今回の医療講演会・栄養相講演会&懇談会全体についてご意見下さい

- ①運動療法の大切さと食事療法の重要性について理解できた（男透析 3 年 70 歳代）
- ②大変解かりやすかった（女透析 10 年 70 歳代） 同コメント 2 通

- ③有意義であった（女透析 1 年 50 歳代）
- ④話を聞いて良かった（女透析 5 年 50 歳代）
- ⑤勉強になりました（女透析 16 年 60 歳代） 同コメント 3 通
- ⑥分かり易い資料で理解しやすかった、栄養士さんの話し方にゆとりがあり（間の取り方等）わかりやすかったです（女透析 6 年 70 歳代）
- ⑦個々の話がとても良かった（男透析 1 年 60 歳代）
- ⑧栄養講演はとても為になりました。実生活にすぐに役立ちます（女透析 1 年 50 歳代）
- ⑨毎年お願いします、忘れる為に（男透析 16 年 70 歳代）
- ⑩とても楽しく勉強になりました（家族）
- ⑪医療の自己負担に一番関心があるだろう（男透析 3 年 70 歳代）
- ⑫とても貴重な場だと感じました（看護師）
- ⑬専門的事は難しかったがリンの話はそれなりに・・・（男透析 3 年 70 歳代）
- ⑭透析の事について勉強になりました（看護師 20 歳代）
- ⑮スライドが見えづらかった、思いや悩みを聞くことができ今後活かしていきたい、クーラーが効きすぎて寒かった（看護師）
- ⑯時間、場所等最適です、日曜日の午前なのに 100 人近く会員様を集めて頂きましてありがとうございます（医師）

5 今後どんな医療・栄養講演会をしてほしいですか？

- ①透析患者の血液検査値の基準と留意点についての講演をお願いします（男透析 3 年 70 歳代）
- ②基本的な題材（従来通りの）を継続してほしい（男透析 2 年 60 歳代）
- ③移植の現状と将来（男透析 16 年 70 歳代）
- ④どんな運動をするとよいのか？（足だけでなく上半身、腕等）・食事が大切は分かるが作り方やメニューを知りたい（女透析 1 年 50 歳代）
- ⑤特にありませんが透析に関するものであればいいです（女透析 6 年 70 歳代）
- ⑥出来るだけ項目をしぼってわかりやすく具体的な対策の仕方を知りたい（男透析 3 年 70 歳代）
- ⑦骨粗しょう症について（圧迫骨折等）（女透析 12 年 70 歳代）
- ⑧K について、水分管理の講演をしてほしい（看護師）
- ⑨栄養講演会に今度カリウムについて講演して欲しい（看護師）
- ⑩足がつれる事に対する対策、対応等について
- ⑪筋肉の保持のためのタンパク質の取り方、エネルギーの維持の食事は？（看護師）
- ⑫(透析継続の意向について)ある所では年 1 回必ず一人一人から出してもらおうそうです、事故に遭ったり、脳卒中になったりしてそういう場合にその用紙を参考にするそうです、そういう事を知りたいです（家族）

6 腎友会に対してのご要望等をお聞かせください

- ①他の医療機関のナースや栄養士さんの話を聞いて良かった、交流できてよかった（女透析 1 年 50 歳代）
- ②透析患者として毎年 1 回以上は医療講演をお願いしたい（男透析 3 年 70 歳代）
- ③ご苦勞様です、感謝してます（男透析 16 年 70 歳代）
- ④企画運営などいつもありがとうございます・総会にも出席しましたが一年間よろしくお願いします・グループ毎のテーマも話し合う参考になって良かった（女透析 6 年 70 歳代）
- ⑤今まで入ってなかったですが入ってよかったと思いました（女透析 16 年 60 歳代）
- ⑥今後の為にも沢山の方に入ってほしいと思う（女透析 4 年 60 歳代）
- ⑦会員募集に市民のチラシ（ショッパー、他）などに載せたらどうか？（女透析 5 年 50 歳代）
- ⑧腎友会の役員の方はご苦勞様です、みんなで力を合わせて一人でも多くの会員を増えるように努力したいと思いました（女透析 10 年 70 歳代）
- ⑨施設でも全員が会員でなかったのが驚きでした（看護師）
- ⑩グループ懇談会 何回も同じメンバーのようなので他の意見なども参考になると思うので時々メンバーを替えても良いのではないのでしょうか（家族）

公明党相模原総支部政策懇談会に参加する

公明党相模原総支部より政策懇談会への参加の要請があり去る8月3日に、市民会館会議室において懇談会がありました。公明党側からは、総支部長佐々木県議会議員、加藤（相模原市議団団長）・米山・栄・大崎・久保田・西家・後田・南波 各市議会議員が、相模原市腎友会からは、館盛副会長、稲田事務局長、加賀谷・宅田・工藤各役員並びに羽田が出席しました。

大崎市議会議員の司会で始まり、公明党側の挨拶・メンバー紹介の後、腎友会側からは、本日の政策懇談会への参加の誘い掛けに対してお礼を申し上げ、メンバー紹介を行いました。その後以下の要望事項を申し上げます。

ア、重度障害者医療費助成制度の現行の形での継続（市に対して）

私たちの透析医療が無料で出来ている、いわゆるマル障の継続。このマル障は、私たち透析者にとってはなくてはならない施策であることを強調しました。

イ、相模原市重度障害者等福祉手当の現行のままの継続（市に対して）

平成25年に県腎友会が実施した透析者生活実態調査の結果では、この手当が無くなると困る人が81.5%いることなどを説明して継続を要望しました。

ウ、透析患者の通院に対する経済的支援（市に対して）

具体的には、タクシー券の倍額増額を要望しました。既に、横浜市、川崎市、横須賀市、茅ヶ崎市、南足柄市では通常障害者に比し透析者は倍額のタクシー券が助成されていることも説明しました。加えて現在タクシー券は500円券のみであり使い勝手が悪いので100円券も織り交ぜてほしいと要望しました。

エ、鉄道運賃について、100km未満での割引

現在、鉄道運賃は、介添え者が居ない場合、100km未満では半額にならない。日常の交通では100km未満が多く、介添え者が居なくても半額としてほしいとも要望しました。

公明党側からは、貴重なご意見、ご要望を聞くことができ感謝している、今後しっかりと政策に反映させることができるよう努力していくと表明がありました。 (羽田記)



常盤ホテル前 1号車の皆さん



2号車の皆さん



第 61 回ふれあい会日帰り旅行



第 33 回医療栄養講演会および懇談会



公明党相模原支部との政策懇談会

今年も日本透析医会災害時情報ネットワークへの 書き込み訓練が行なわれました

『日本透析医会』は

- ①震災時に透析患者を救済する為
- ②全国の医師間で迅速で性格な透析施設情報の収集・提供・交換を可能にする為

阪神大震災後に『日本透析医会災害時情報ネットワーク』を立ち上げました。そして、防災週間に合わせて、毎年、全国で、この情報ネットワークへの情報書き込み（=情報入力）の模擬訓練を行なっています。今年も9月1日（木）に行われました。

相模原市及び近隣地区の透析施設では12の施設にご参加いただきました。神奈川県全体では30施設で、その内40%を占めています。たいへん多くの施設にご協力いただいたと言えます。感謝申し上げます。

具体的施設名を次のとおり記載させていただきます（順不同です）。

- ・相模大野内科
- ・さがみ松が枝クリニック
- ・北里大学病院
- ・相模台病院（座間市）
- ・相模原赤十字病院
- ・森下記念病院
- ・さがみ循環器クリニック
- ・腎クリニック
- ・相模原クリニック
- ・阪クリニック
- ・第二相模原クリニック
- ・広瀬病院
- ・J A相模原協働病院

（羽田記）

第35回ふれあい作品展

作品募集

あなたの作品をぜひ発表して下さい。

募集作品◆絵画◆写真◆書道◆手工芸◆陶芸など

出品資格◆会員◆家族◆腎友会のある施設スタッフ

会期 平成28年11月11日(金)～11月13日(日)

場所 かながわ県民センター1階展示場 横浜駅西口

申し込み・問い合わせ

●施設会員は各施設腎友会役員へ

第4章・座り込みデモの真相

◆ゼッケンを付けたデモも行ないました。当時デモはプラカードと労働組合の旗が主力でしたが、ゼッケンを付けたデモは珍しいと思います。◆このデモは厚生省前でシュプレヒコールを行い、そのあと大蔵省に行く予定でした。この間約1キロ。この距離が大変な道のりでした。貧血がひどく、ヘマトが15とか16程度しかなかったのですから当たり前です。◆やっと大蔵省について動けなくなり座ってしまったのです。これが良く言われている「透析患者の大蔵省での座り込みデモ」の真相です。座り込みというより、本当は動けないのです。一月の寒い日でした。◆初年度から署名運動を行いました。国会議員にこの署名簿を直接手渡し、協力を仰ぎました。この署名運動があるから、いろいろな法案、予算を通すことが出来たと思っています。今でも毎年続いている大事な活動の一つです。

第5章・成果は

◆厚生医療の適用を受けることが出来ました。これによって公費負担の道が開けましたが使い勝手が良くなり、のちに健康保険の高額療養費制度が創設され、さらに後述のマル障制度が出来たことで「お金の問題」は大きく改善されました。当時の厚生医療は生活保護の一種で、当時の資格認定は厳しく、冷蔵庫・テレビ・電話の所有は不可でした。そこでたとえ夫婦でも世帯を分ける、世帯分離の手続きを推奨し、厚生省の局長に「資格認定をあまり厳密にしないように」と通達を出してもらった経過があります。◆人工腎臓が少ないため透析治療を受けられない人が沢山いたので、設備を増やしてくれというのも性急かつ大きな目標でした。当時全国で666台しか人工腎臓がない時代です。患者も1000人程度だったと記憶しています。1人亡くなると、設備に空きが出るので、次はだれにするか選別する時代でした。医師もつらい立場だったと思いますが、患者にとっても命がつながるかどうかの瀬戸際です。保険の種類、資格の有無、年齢、社会的地位、合併症の有無などが基準になったようです。くじ引きで決めたケースもあったと聞いています。これも人工腎臓を5カ年計画で増設していく整備費が計上され、徐々に機械不足は解消されます。◆昭和46年度の、国の腎関係予算が190万円。これが昭和47年度の厚生省が提出した概算要求は11億6千万円。局長折衝、大臣折衝を経て大蔵省の決定予算では5億6千万円。減額は残念だという意見もありましたが、私は、大成果だったと思います。◆まだまだ輸血の血液確保や慢性腎疾患問題、障害年金、腎移植など問題は沢山ありますが、発足から1年余りで緊急の課題はとりあえず達成しました。◆これらの成果は税収の膨らみ、福祉行政の流れ、メディアの助太刀もありましたが、何と言っても初代の事務局長であった笠原英夫氏の存在です。彼の強力なリーダーシップが一番大きな力だといっても過言ではないと思います。大蔵省の技官の前で言いました。『透析を受けられれば社会復帰して税金を納めることが出来ます。世の中にお返しが出来ます。どうか人工腎臓を増やしてください。』と。

第6章・現実

◆問題も山積みしていました。何しろ素人の集団ですからやり方が分からない、腎臓病の早期発見のために検尿の実施を厚生省に陳情に行くと、学生・生徒は「文部省」に、労働者は「労働省」に、商店主、主婦は「自治省」に行ってください。妊婦については「厚生省」が行います。と言われ書類を再準備しなければならなくなりました。当時はワープロ、パソコンはまだ無く、印刷所に頼むかガリ版刷りです。ヤレヤレです。

◆1月に厚生省の担当から「予算が付きました。おめでとうございます。」と予算の厚い書類を渡されても、どこをどう読んでいいのかわかりません。見たこともないような大きな数字があちこちにあるからです。このようなときは結核患者の全国組織「日本患者同盟」の方々に助けられました。厚生省交渉のときも「日患同盟」の役員の方が同席してくれました。◆活動資金がありません。資金調達も仕事の一つです・役員の方は全員手弁当です。なんとかしなくては息の長い活動が出来ません。透析機器メーカーなどに寄付集めに行きました。当時メーカーが4社あったと記憶しています。まだ準備会の段階でも快く寄付に応じた会社もありました。「日機装(株)」もその一つです。

第7章・マル障のこと

◆当時の政治、政治情勢を見てみます。東京都知事は美濃部亮吉。神奈川県知事は津田文吾。統一地方選挙で社会党と共産党共同推薦の美濃部氏が都知事に当選し、70歳以上の高齢者の医療費を無料とした(後に65歳以上と年齢を切り下げ)のが大きな流れかもしれません。福祉行政の幕開けの頃です。しかも国より地方のほうが先行していました。東京都はすぐに透析治療費の無料化を決定しました。◆津田知事も美濃部知事に負けず劣らずの方で、世の情勢が福祉に傾くとすぐに知事肝いりの議員連合を作り、事務局を県の衛生部に置き「人工腎臓を1日も早く、1台でも多く」とキャンペーンまで発表しました。私に県議会での参考人出席を頼んできたのも県の衛生部の方です。本来なら、私たちが行政に頼むところ、行政からの依頼で委員会出席など戸惑った記憶があります。◆今でもお世話になっている「**重度障害者医療費助成制度(通称マル障)**」はその時に出来た神奈川県の単独事業の一つです。昭和47年の事でした。当初は全額県の負担でした。平成20年に財源不足を理由に要綱を変更し、1/2を市町村負担とし、さらに24年からは、ほとんど全額が各市町村の負担になっています。財源が厳しい市町村では負担に耐え切れず自己負担を導入しています。

活 動 日 誌

※1 氏名は参加者を示します。順不同です。

※2 「NPO法人 れんきょう」或いは「連協」は、相模原市腎友会が加盟している「特定非営利活動法人 相模原市障害児者福祉団体連絡協議会」を示します。

07 / 02 (土) さがみはら防災フォーラム 羽田

07 / 03 (日) 第33回医療・栄養講演会並びに懇談会 石田、稲田、工藤、関口、石亀

小久保、大谷、二ノ宮、宅田、平野、中丸親子、加賀谷、加藤、館盛、江口、羽田

07 / 07 (木) 地域保健課打ち合わせ(秋の腎臓病のお話と相談会) 工藤、羽田

07 / 10 (日) ニュース142号 印刷、発行 加賀谷、平野、稲田、宅田、北村、工藤、石田、二ノ宮、館盛

07 / 15 (金) 健康づくり会議幹事会 工藤

07 / 17 (日) 第61回ふれあい会日帰り旅行 大谷、宅田、平野、石田、二ノ宮、小久保、稲田、工藤、加賀谷、
館盛、江口、川神、羽田

07 / 18 (月) NPO法人れんきょう平成28年度第3回理事会 羽田

07 / 27 (水) 相模原市障害者自立支援協議会(NPO法人れんきょう) 羽田

08 / 01 (月) 公明党相模原総支部政策懇談会(NPO法人れんきょう) 羽田

08 / 03 (水) 公明党相模原総支部政策懇談会(腎友会) 館盛、稲田、加賀谷、宅田、工藤、羽田

08 / 04 (木) 相模原市福祉有償運送運営協議会(NPO法人れんきょう) 羽田(だ)

08 / 04 (木) 県腎友会常任理事会 館盛

08 / 07 (日) 第205回役員会 館盛、江口、大谷、加賀谷、平野、宅田、石亀、石田、柴崎、工藤、
関口、北村、二ノ宮、小久保、稲田、羽田

08 / 26 (金) 総合相模更生病院訪問 羽田

08 / 29 (月) 自民党相模原総支部懇談会(NPO法人れんきょう) 羽田

09 / 04 (日) 腎友さがみはら 142号編集会議 稲田、北村、館盛

09 / 16 (金) さがみはら市民健康づくり会議 工藤

09 / 16 (金) 県組織拡大委員会 広瀬病院訪問 加賀谷、館盛

以上

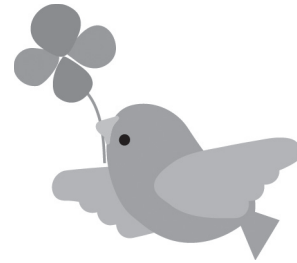
青い鳥ハガキ寄付者名簿

淵野辺総合病院	三浦叔雄様	20枚
さがみ循環器クリニック	内海信子様	20枚
さがみ循環器クリニック	菱山美奈子様	20枚
阪クリニック	宮川勝子様	20枚
ニーレンクリニック	川合啓子様	20枚
橋本みなみ腎クリニック	鈴木いく江様	20枚

前号のこの欄に誤りがありました。

訂正してお詫び申し上げます。正しくは下記の通りです。

淵野辺総合病院	長島桂恵子様	26枚
---------	--------	-----



新入会員者名簿

橋本みなみ内科本院 八木静男様

以上



編集後記

気候も秋雨前線の季節からやがて本格的な秋を迎えようとしております。
腎友会の活動も4月よりいくつかの活動を重ねて中盤となってまいりました。
日頃より各活動へのご参加等でご協力を頂きありがとうございます御座います。
これからも会員皆様のご協力をお願いして止みません。よろしくお願い致します。

前回の連載記事は如何でしたでしょうか。今回の連載記事は4, 5, 6, 7章を掲載致しました。
次の号での8, 9章で最終となります。

いま元アナウンサーの長谷川豊のブログが透析界をにぎわせております。私のように糖尿病から透析に入ったものとしてはショックは大きく考え込むような内容でした。ある意味「津久井やまゆり園」の事件の言葉を聞く思いが致しました。

館盛